

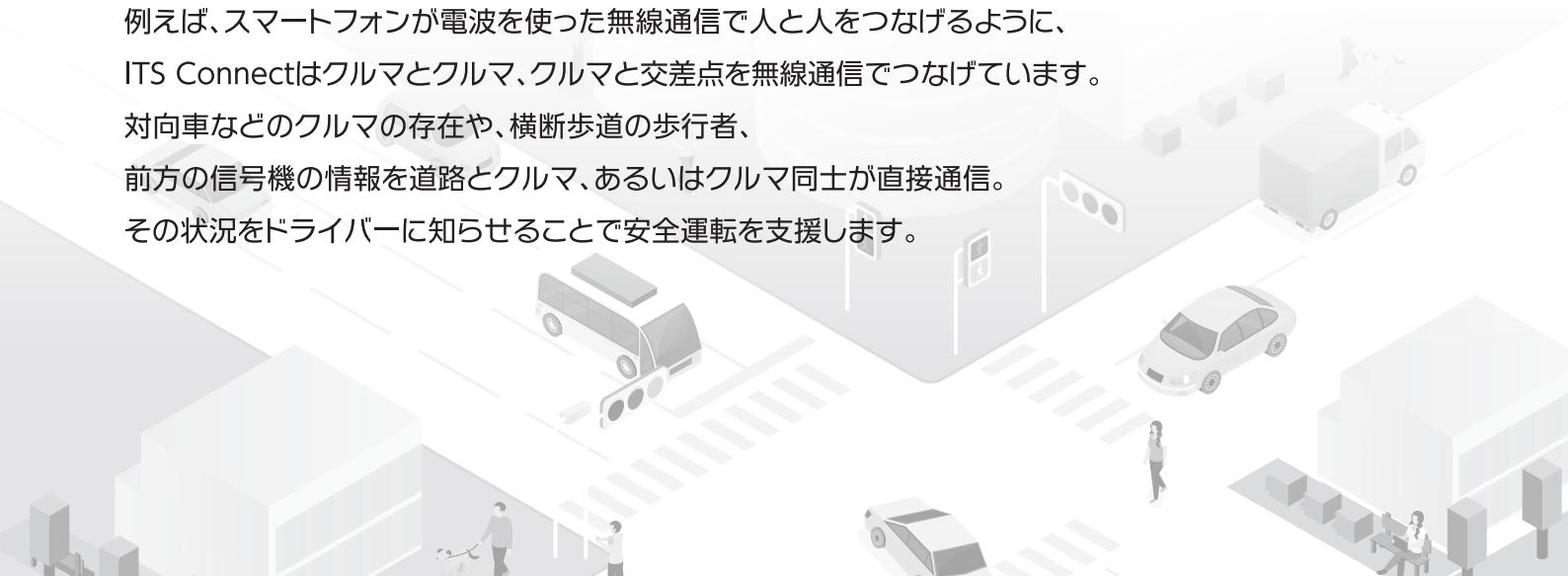


クルマを運転する人の優しいミカタ、
それが ITS Connect です。



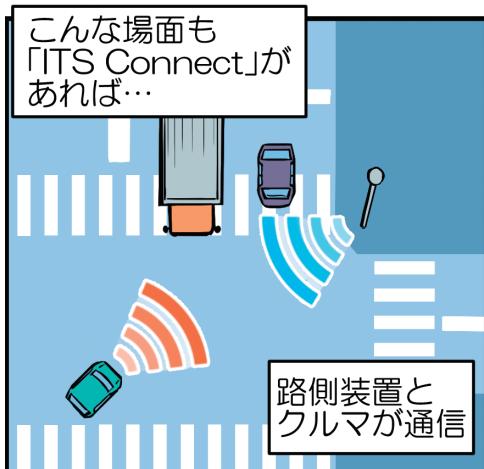
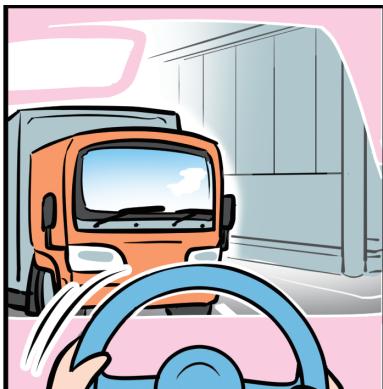
いつものドライブをもっともっと安全に。
みんなの願いに応える技術、
それがITS Connectです。

例えば、スマートフォンが電波を使った無線通信で人と人をつなげるよう、
ITS Connectはクルマとクルマ、クルマと交差点を無線通信でつなげています。
対向車などのクルマの存在や、横断歩道の歩行者、
前方の信号機の情報を道路とクルマ、あるいはクルマ同士が直接通信。
その状況をドライバーに知らせることで安全運転を支援します。

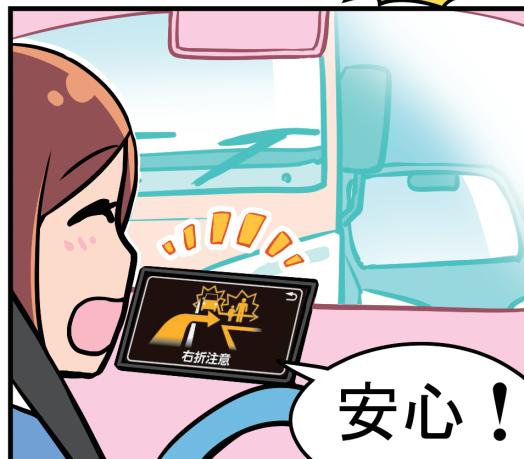




たとえば、交差点での右折 | クルマの陰から突然対向車が…。 そんなヒヤリハットの経験はありませんか？



死角になっていても
対向車の存在をお知らせ。

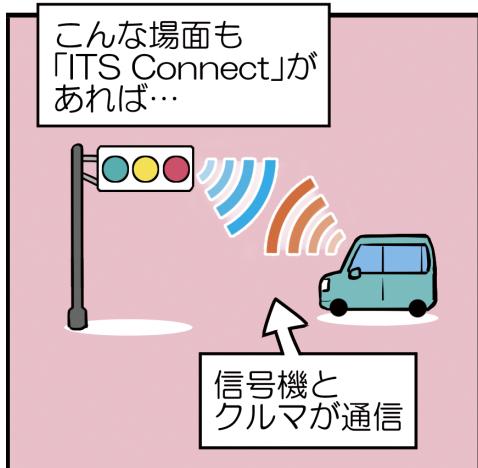
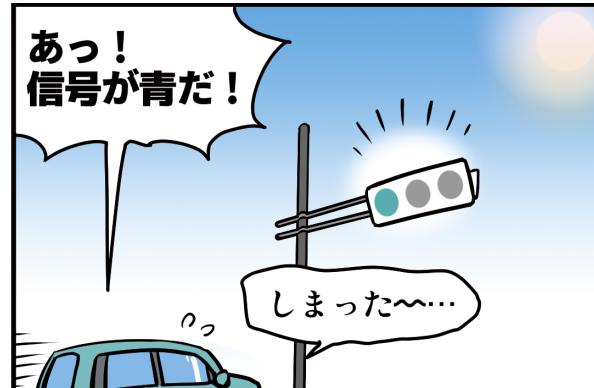
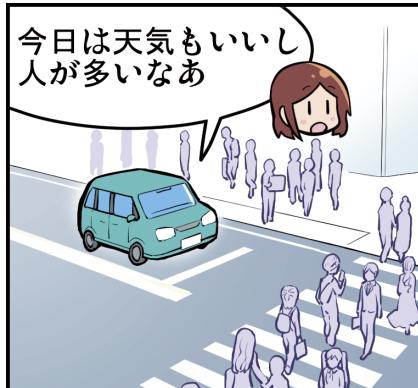


安心！

死角の対向車や歩行者の存在に気づかず右折しようとするとドライバーに知らせます。

詳しくは…▶動画▶

赤信号で停車中に | 青信号になつても気づかず、後ろのクルマからクラクションを鳴らされたことはありませんか？



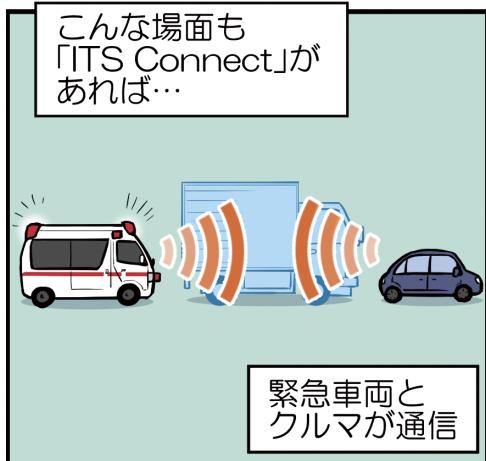
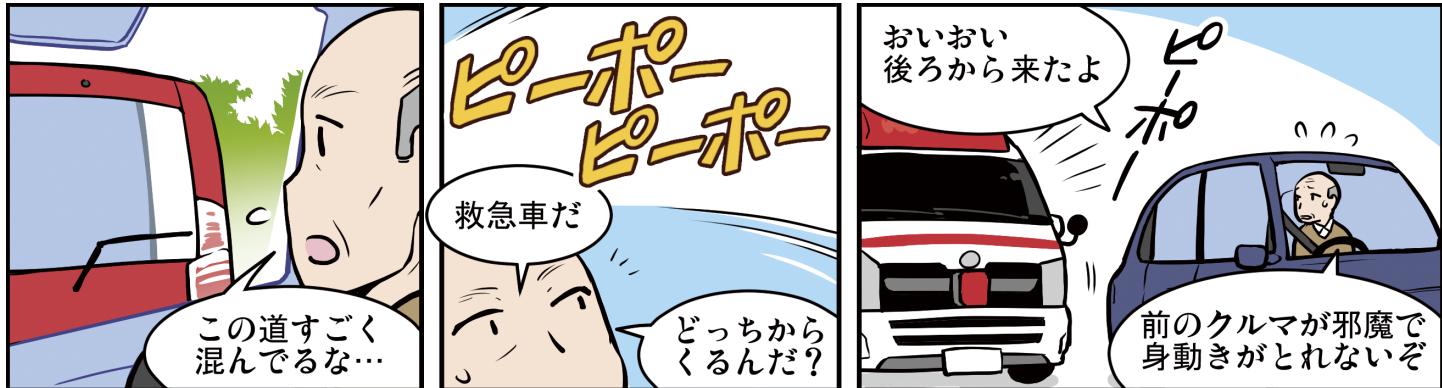
信号が青に変わるまでの
時間をお知らせ。



待ち時間の目安をお知らせし、信号がかわるタイミングがわかります。

詳しくは…▶動画 (トヨタ自動車)▶

緊急車両が後から来た時に | 前のクルマに近づき過ぎていて、うまく車線を空けられないと、ありませんか？



サイレンを鳴らしている
緊急車両の方向や
距離・進行方向を表示。



混雑や騒音で緊急車両の存在が分かりづらい状況でも、その位置や進行方向をお知らせします。

詳しくは…▶動画▶

たとえば、高速道路では

車間距離の取り方が難しくて
ついついブレーキを踏みがちになりませんか？



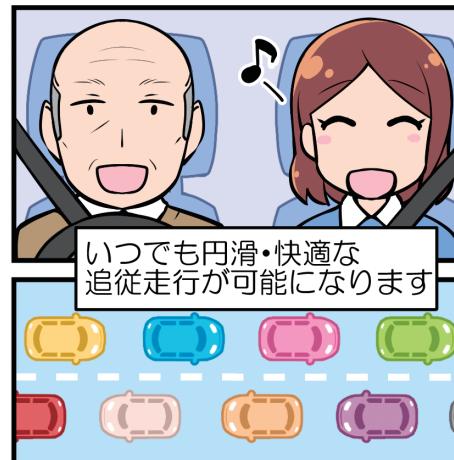
ACC : Adaptive Cruise Control 定速走行・車間距離制御装置



CACC機能で
最適な車間距離をキープ。



CACC : Cooperative Adaptive Cruise Control
通信利用型定速走行・車間距離制御装置



先行車と通信することでより快適な追従走行を行います。

詳しくは…▶動画▶

ITS Connect推進協議会 会員一覧

幹事会員

京セラ株式会社
住友電気工業株式会社
株式会社デンソー
トヨタ自動車株式会社

豊田通商株式会社
株式会社日立製作所
ルネサス エレクトロニクス株式会社

正会員

アルプスアルパイン株式会社
アンリツ株式会社
いすゞ自動車株式会社
沖電気工業株式会社
株式会社交通総合研究所
株式会社JVCケンウッド
スズキ株式会社

株式会社ソシオネクスト
東芝情報システム株式会社
日本信号株式会社
日本無線株式会社
パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社
パナソニック サイクルテック株式会社
日野自動車株式会社

富士通株式会社
マツダ株式会社
株式会社ミックウェア
三菱電機株式会社
UDトラックス株式会社

特別会員

警察庁
総務省
経済産業省
国土交通省 道路局
国土交通省 物流・自動車局

特定非営利活動法人 ITS Japan
一般財団法人 ITSサービス高度化機構
一般社団法人 UTMS協会
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
国立研究開発法人 情報通信研究機構
一般社団法人 電子情報技術産業協会
一般社団法人 電波産業会
一般財団法人 道路交通情報通信システムセンター

一般財団法人 道路新産業開発機構
一般社団法人 日本自動車工業会
一般社団法人 日本自動車部品工業会
日本自動車輸入組合

2026年1月現在



ITS Connect推進協議会

東京都港区港南2-3-13 品川フロントビル
<https://www.itsconnect-pc.org/>

ITS Connectについて

- (1) ITS Connectは、道路（交差点）に設置された対応機器や、通信機が搭載された車両からのデータを受信することで作動するシステムです。自車両の周囲に通信相手（ITS Connect対応の路側機、車載機の搭載車など）が、存在する場合にのみ作動します。
- (2) 無線通信を利用したシステムであり、電波状態その他の理由により、
①適切な表示や案内が出ない、②自車両に関する情報を周囲の通信相手に伝えられない等の場合があります。
- (3) ITS Connectで提供される情報は、あくまでも補助機能です。案内情報を過信せず、常に道路状況に注意し、安全運転に心掛けてください。
- (4) ITS Connectに対応した機器は、日本国内での使用を前提としています。
- (5) 各社の車両・車載機により提供されるサービスに違いがあります。